

東京工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	ReadingIII	
科目基礎情報							
科目番号	0070		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	『My Way: English Communication II』（三省堂）						
担当教員	横溝 仁						
到達目標							
・学習した文法事項やリーディング・スキルを活用して正確に英文を読解できる。 ・できるだけ多くの多様な文章に触れ、英語を楽しく読む習慣を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達度レベルの目安（可）		未到達レベルの目安
評価項目1	教科書の各章の文法ポイントを十分に理解し説明できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できない。
評価項目2	辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分150語の速度で読める。		辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分100語の速度で読める。		辞書無しで入門的な英語の文章を毎分80語の速度で読める。		辞書無しで入門的な英語の文章を読む速度が毎分80語に満たない。
評価項目3	授業内で示された課題を近隣の学生達と討議し、結論を導き出せる。		授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できる。		授業内で示された課題を最低限近隣の学生達と討議できる。（課題を十分に理解できる。）		授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できない。（課題を十分に理解できない。）
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 B3							
教育方法等							
概要	・英語の基本構文ならびに様々なリーディング・スキル（フレーズ・リーディング、パラグラフ・リーディング、スキミングなど）を学ぶ。						
授業の進め方・方法	・（小テスト→）1. 到達目標の提示→2. Key Sentences: Group Work→3. Key Sentences解説→4. Vocabulary check→5.教科書本文確認（→補助教材など）						
注意点	・教科書、参考書、辞書、ハンドアウトを管理するバインダー等は毎回持参すること。 ・この授業では、原則、一文一文の詳細な解説や逐語訳は行わない。各自、予習の段階でしっかり本文を読みこんでおくこと。小テストや定期テストで確認を行う。分からないところがあれば必ず質問に来ること。 ・本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習等の自学自習の実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身につけることが必要である。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction、授業の説明、「英語で自己紹介」				
		2週	Lesson 1 ("Pictograms")-1&2			SVC/SVO、SVO(O=if節)を説明できる。主語と（述語）動詞の関係をとらえて読解できる。	
		3週	Lesson 1 ("Pictograms")-3、補助教材			SVC（C=分詞）を説明できる。主語と（述語）動詞の関係をとらえて読解できる。	
		4週	Lesson 2 ("A New Way to Clean Up the Ocean")-1&2			SVO1O2(O2=that/what節)、SVO1O2(O2=if節)を説明できる。フレーズ・リーディングができる。	
		5週	Lesson 2 ("A New Way to Clean Up the Ocean")-3 文法のまとめ①、Activity 1			It seems that節を説明できる。フレーズ・リーディングができる。	
		6週	Lesson 3 ("Cuba")-1&2			形式主語のit、形式目的語のit①を説明できる。パラグラフ・リーディングができる。	
		7週	Lesson 3 ("Cuba")-3 補助教材			形式目的語のit②を説明できる。パラグラフ・リーディングができる。	
		8週	総復習／中間試験対策				
	2ndQ	9週	中間試験				
		10週	Lesson 4 ("The World's Poorest President")-1&2			SVOC(V=知覚動詞、C=動詞の原形)、SVOC(V=知覚同土、C=過去分詞)を説明できる。スキニングができる。	
		11週	Lesson 4 ("The World's Poorest President")-3&4 文法のまとめ②、Activity②			SVOC(V=make/have、C=過去分詞)、Help+O+動詞の原形を説明できる。スキニングができる。	
		12週	Lesson 5 ("Eye Contact")-1&2			関係代名詞（主格）、前置詞＋関係代名詞を説明できる。スキミングができる。	
		13週	Lesson 5 ("Eye Contact")-3&4			関係代名詞の非制限用法、関係副詞の非制限用法を説明できる。スキミングができる。	
		14週	Reading 1: "The Open Window" #01			学習した文法事項やリーディング・スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
		15週	Reading 1: "The Open Window" #02			学習した文法事項やリーディング・スキルを活用して正確に英文を読解できる。	
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語量の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト・課題	相互評価	授業態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0